

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年11月21日朝刊中部版

手話で国名を表現する
岡田選手(右)
＝焼津市の大井川西小

デフU-23 日本代表 中山監督と W杯経験 岡田選手 が講演



焼津市の大井川西小で19日、聴覚障害者競技「デフサッカー」を学ぶ授業が行われた。U-23日本代表の中山剛監督とデフサッカーW杯の出場経験を持つ岡田侑也選手が講演や体験会を通じて、競技の魅力や「音のない世界」を伝えた。

「音のないサッカー」授業

①「デフサッカー」のことを見出しでは何と表現していますか。

（「音のないサッカー」）

②「サッカー」と「デフサッカー」とのちがいを記事の中から見つけて書きましょう。

（例）
審判が笛ではなく旗を使う点

大井川西小 児童 表現の難しさ知る



身ぶり手ぶりだけでキーワードを伝えるゲームに挑戦する児童

講演では中山監督がサッカーとデフサッカーの違いについて、審判が笛ではなく旗を使う点と説明した。聴覚障害者のオリンピック「デフリンピック」の成り立ちにも触れ、障害者スポーツに理解を求めた。児童たちは補聴器を外した状態の岡田選手に物事をどう伝えるかを実践した。

（焼津支局・福田雄一）

講演では中山監督がサッカーとデフサッカーの違いについて、審判が笛ではなく旗を使う点と説明した。聴覚障害者の立場について学んだ。

体験会では、6人一組で声を出さずに、数字や動物の名前を伝えていくゲームに挑戦した。児童たちは身ぶり手ぶりだけでは表現できない難しさを体験した。

③「デフサッカー」のほか、児童は聴覚障害者の立場を理解するためにどんなゲームに挑戦しましたか。記事中の関係するところに線を引きましょう。

④聴覚に障害がある人と物事を伝え合うとき、どんな工夫をしたらよいと思いますか。30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

（例）身ぶりや手ぶりを使ってキーワードを伝え合う工夫をしたい。(28字)
キーワードを紙に書き、それを見せながら伝え合いたい。(26字)
手話を覚えて、それを生かしながら伝え合いたい。(23字) など

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／保健体育、道徳、特別活動、総合)